

長唄講習会

- ・三味線の一丁目一番地
- ・音楽科における三味線を使った創作の授業づくり

このたび、音楽科の先生方の授業づくりのお役に立つべく、長唄の講習会を催す運びとなりました。講座は、A.Bの2種類をご用意し、ご都合が許せばAB両方、あるいはご興味をお持ちのA.Bいずれかのみを受講することもできるように時間割を組んでおります。また、「長唄に関する萬(よろず)相談」の時間も設けてみました。ご興味をお持ちの先生におかれましては、どうぞ奮ってご参加くださいませ。

日時:2026年2月24日(火)13:30~17:00

場所:渋谷区立原宿外苑中学校

想定受講者数:一講座につき10名程度 ※希望者が想定よりも多い場合も、可能な限り対応いたしますが、万一、ご対応が叶わない場合はご容赦くださいませ。

参加費:500円(当日現金にて申し受けます)

連絡先:nagauta.kyoiku.design@gmail.com(長唄協会 長唄と教育をデザインする委員会)

応募締切:2026年2月14日(土)

講座概要

A.「三味線の一丁目一番地」

～三味線を美しい構えで響きの良い音を出すための講座 講師 杵屋三澄

三味線は、弾く以前の準備の仕方や構えなどの基本を知ること、「音色」が格段に良くなり、弾きやすくなる楽器です。普段の講習会では、時間の都合上、楽器の扱い方についての実習時間を十分に確保できないこともしばしばです。

そこでこの講座では原点にもどり、楽器の扱い方やサワリの簡単な説明から始め、美しい構え方、弾きかたなど、三味線らしい響きの良い音を出すための技術を習得していただくことを目的とします。

B.「音楽科における、三味線を使った創作の授業づくり」～考え方と実践

音楽科における三味線を使った創作の可能性を模索する講座。

座学的要素の強い①部(25分程度)と、ワークショップ要素の強い②部(55分程度)の2部立てとします。

①部 三味線で旋律をつくるための覚え書 講師 今藤政音

調子やサワリの観点から、三味線で作りやすい音階、旋律などについて解説する。

②部 三味線の開放弦を使った創作 講師 東音味見純 松永和之助

三味線独特の音を味わいながら、開放弦を使った音作りの実践。

I. 開放弦のみで(場合によっては1箇所程度の勘所を押さえた音を使って)、打ち合せなどを盛り込んだ楽しい曲を創る。

II. 古典曲の器楽部分(いわゆる合方)に、開放弦や最小限の押さえた音を使って伴奏を作る。古典的な音列を感じながら、アンサンブルを楽しむことを目的とします。

I,IIいずれも講師陣がサンプルをご用意しますが、先生方にもその場で挑戦していただく予定です!

時間割

※A.B両講座を受講なさる方はA→Bの順番でお受けになることをおすすめします。お時間に制約のある方は、ご希望の講座を一つだけお受けになることも可能です。

13:30~14:50	A.三味線の一丁目一番地	B.音楽科における、三味線を使った創作の授業づくり
15:00~16:20	B.音楽科における、三味線を使った創作の授業づくり	A.三味線の一丁目一番地
16:25~17:00	長唄・萬(よろず)相談室	

※三味線は基本的にはご準備いたしますが、お持ちのかたはご持参くださっても結構です。必要に応じて調整いたします。